

茅ヶ崎高校「かながわパラスポーツ理解促進事業(車椅子バスケットボール体験)」報告

- 1 日 時 平成 30 年 3 月 22 日 (木) 9:50~10:40
- 2 対 象 1 年生 289 名
- 3 講 師 一般社団法人 関東車椅子バスケットボール連盟所属選手 7 名
- 4 事業の概要 教員と選手とのミニゲーム、生徒同士のミニゲーム、選手による講話

[生徒の感想]

- 車椅子バスケは、健常者でも、障がいを持つ人でも同じように楽しめるので、コミュニケーションの幅が広がると思った。
- みんなで協力する場面がたくさんあって、とてもいいスポーツだなと感じました。
- 「何ができない」じゃなくて、「何ができるか」考えることはとても大切。
- 同じ障がい者でも、重さによって持ち点などで平等に競技に参加できることができるようになってるのがいいなと思った。
- 2020年のパラリンピックに興味を持てた。
- マネージャーさんのように関わるのも楽しそう。
- 障がいがあっても、健常者と同じようにスポーツを楽しんでいる姿を見て、スポーツをするのに障がいの有無は関係ないと思いました。今日、学んだことは、障がい=不幸ではないということです。
- 他にどんなパラスポーツがあるのかなと興味がわいてきました。
- 自分がスポーツ全然できないからこそ、がんばってスポーツをしている人の姿はかっこよくて憧れる。その人たちのために、何かできればいいなと思う。
- みんな同じ人なので、身近なことでも支えあいたいと思った。
- くじけずに新しい夢を持って、一步一步前進していてすごいと思いました。
- 障がい者も健常者の助けがあれば、できることが増えるのだとわかった。
- できないことではなく、どうすればできるようになるかを考えるという発想はすごいと思った。日常生活でも大切なことだと思うので、心に留めておきたいなと思いました。
- 本気になれることはすごくいいことだと思う!!こういうスポーツが広まってほしい。
- 新しいスポーツとして興味がわいた。今回、試合を見て面白かったし、やってみたいと思った。
- これから先も車椅子バスケットボールが発展していけばと思います。
- 選手のみなさんの輝きがすごかった。
- 体が不自由にもかかわらず、私たちとは何も変わらない様子を見て、逆にこちらが励まされた気がします。
- 車椅子バスケットボールが想像していたよりも激しいスポーツで、良い意味期待を裏切られたので、他のスポーツも見てみたいと思った。
- 元々、車椅子テニスに興味があって、さらにパラスポーツへの興味がわいた。ちゃんと壁を乗り越えていてすごいと思った。
- 自分自身、障がい者の気持ちになることはできないから、こういうスポーツを通して、分かり合えたらいいなと思います。
- 「リアル」という、車椅子バスケの漫画から興味を持ち、今回の体験授業でもっと興味を持った。

- 障がいを持った人を今までは普通の人と違う目で見えていたけど、皆さんがバスケをやっている姿を見て、見る目が変わったし、これからもがんばってほしいと思った。
- 障がいをおったからと言って、何もできなくなる訳ではなく、障がいをおったからこそできることもあると知った。
- 自分は健康だから、やはり怪我や障がいのある人のことを 100%理解するのは難しいけど、がんばりたいです。
- 車椅子はめっちゃ早いし、すごいかっこよかったです。今後、さまざまなことでパラスポーツが関わる時代になっていくと思ったので、とてもよい経験になりました。
- まだ閉じこもっている人とかも見てほしいと思う。やってほしいと思う。
- 2020 年の東京オリンピックに向けて、障がい者の選手へのサポートがボランティアなどを通してできたらよいと思った。健常者の人が支えていけるような社会になったらよいと思う。
- 障がいと聞いて、少し抵抗があったけど、今回、講演も聞いて興味を持った。
- 私の父も障がいがあるので、そういった人も楽しめるパラスポーツに興味がある。
- たくさんさんのルールや支えがあり、パラスポーツというものができあがったことを思うと、すごいと心底思った。
- 車椅子の人たちへの理解をより深め、何ができて、何ができないのかを知りたいし、スポーツ自体が楽しそう。
- “障がい者”の壁を感じさせないスポーツを、どんどん増やしてほしいと思った。
- ここからは、すべての人が、自分の楽しみたいことをできる時代にしていきたい。
- 普通の人たちと変わらず、それぞれが楽しくスポーツできるのが当たり前になってほしい。
- 私も今、足の靭帯を切ってずっと運動ができないので、パラスポーツをしてみたいと深く思いました!!
- 障がいのある人でも、健常者と同じように、むしろ健常者よりたくさんさんの努力をして取り組んでいることが、すごいと思う。
- もっとバリアフリーを広げられるように、自分の周りでできることから少しずつやっていこうと思う。
- さまざまな困難を乗り越えて今があると思いました。今後、さまざまな障がいを持った方に会うと思うので、今回の授業を活用していきたいと思いました。
- 自分が普段生活しているのが当たり前じゃないってことが実感できた。
- 初めは障がい者に対する偏見があったのですが、今回の授業で、障がい≠不幸というのを知り、健常者が助けることによって、よりよい生活ができるというのを知ったので、助け合わなければいけないと感じた。
- まだ珍しいものとされていることもあるので、そうではないというのを周囲の人から教えていけたらよいと思う。
- みんな壁をなくして仲良くしたい!
- 「助けがあれば、コーラを買える」この言葉はとても名言だと思いました。私も困っている人がいたら、コーラを買ってあげたいです。
- 一つのスポーツとして、とても興味があしすし、かっこいい。
- パラスポーツに使われる器具に興味がある。車椅子など。
- 将来、パラスポーツにかかわる仕事をしてみたいと思いました。
- もともと福祉にかかわりたいと思っていた。